

新しい発想が生まれるメカニズムとは？

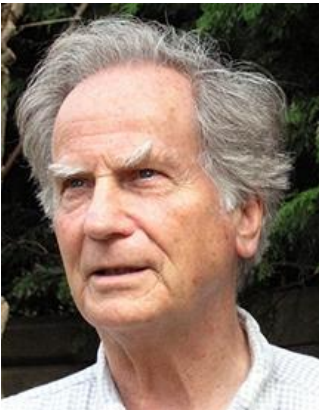


Photo: <http://student.uva.nl>より

バルト・ノーテボーム (Bart Nooteboom) 教授：

組織論の分野において世界を牽引する研究者である。数学と計量経済学を学んだ後、シェル石油インターナショナルに1974年まで勤務。その後、グローニンゲン大学教授、ロッテルダム・エラスムス大学教授を経て、現在、ティルブルフ大学名誉教授。起業家精神や企業革新の分野で数多くの著書があり、例えば、2000年の著書、「Learning and Innovation in Organizations and Economies (組織と経済における学習とイノベーション)」は、経済学、社会学、認知科学を駆使しながら、イノベーション創出と学習システムのあり方について語る、先鋭的で示唆的な書である。

Kapp賞 (1996)、Gunnar Myrdal賞 (2004)、Schumpeter賞 (2009) など受賞歴多数。2000年、王立オランダ芸術科学アカデミーのメンバーに選出されたほか、2006年～2008年には、オランダ科学政策評議会 (WRR) メンバーとして、イノベーション政策に貢献。

欧州における組織論研究の第一人者による講演です。

ノーテボーム教授は、長年の研究から、新しい変革を生み出すためには、それに相応しい組織的環境と、適切な発見的教授法がある、と指摘しています。

特に注目すべきは、独自の「認知的距離」という概念。

組織のメンバー相互の認知的距離が近すぎず、また遠すぎず、適切であって、個々の主体性が保たれる

とき、イノベーションを起こし得るといいます。

今回、大学におけるイノベーションをめぐる、

「探究」と「開拓」のサイクルを生み出すこと、を

中心にお話し頂きます。

新しい発想が生まれるメカニズムに関心をお持ちの方、

大学におけるイノベーション、あるいは大学を核とした

地域社会のイノベーションのあり方に関心をお持ちの

皆さま、どなたでもご参加いただけます。

公開 セミナー

「大学のイノベーション

～新しい発想が生まれる仕組みを考える～」

"Exploration and Exploitation at the University"

講師 **バルト・ノーテボーム Bart Nooteboom 氏**

(オランダ・ティルブルフ大学名誉教授)

日時 2017年 **11月21日(火)** 16:40-18:10 英日逐語通訳あり

会場 山口県立大学・南キャンパス(山口市桜島3-2-1) D24教室(Y-ACT室)

定員30名 参加無料・事前申込制(申込み締切: 11/20(月)正午まで(定員になりしだい終了))

申込先 erepo@yamaguchi-pu.ac.jp タイトルを「ノーテボーム講演申込み」としてください。

Tel : 083-929-6503 (高等教育センター)

※本学の学生は事前申込み不要です。

※本セミナーは、平成27年度山口県立大学研究創作活動助成・国際共同研究型「次世代型高等教育の環境をデザインする～世界的スタンダード構築に向けた国際比較研究～」の一環として実施します。どなたでもご参加いただけます。